

会長通信 No. 22

2018年1月1日

(一社) 岩手県中小企業診断士協会

会長 宮 健

目 次

1. 平成29年10月以降の主な動き（会長として参加した会合など）
2. 日本経営診断学会東北部会の「研究発表会」開催報告
3. 北海道・東北ブロック会議について
4. 新入会員を迎えました
【添付資料】①新入会員からの「入会のご挨拶」
②平成29年度ブロック会議タイムテーブル表
③金融庁の「業務説明会」次第
④平成29年度士業懇談会の開催について
⑤日刊岩手建設工業新聞「宮健のズバリ寸評」（786回）

明けましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

1. 平成29年10月以降の主な動き（会長として参加した諸会議など）
 - ① 10月20日（金）「会長通信No. 21」発行
 - ② 11月 2日（土）「グループ補助金審査会」（盛岡商工会議所にて。主管は県経営支援課）
 - ③ 11月11日（土）日本経営診断学会東北部会との合同研究発表会（岩手県立大学アイーナキャンパスにて）
 - ④ 11月13日（月）岩手県生活衛生大会（ニューウイングにて。主催は岩手県生活衛生同業組合中央会。岩手県ほか商工団体等後援）
 - ⑤ 11月17日（金）中小企業診断協会北海道・東北ブロック会議（青森市にて。幹事は青森県協会）
 - ⑥ 11月22日（水）金融庁の業務説明会（県公会堂にて。金融庁、経済産業省合同の「金融施策」「中小企業施策」についての説明会）
 - ⑦ 11月22日（水）士業懇談会（ホテルルイズにて。当番幹事は税理士会。参加は14士業団体で、各団体の近況報告、講演、懇親会など）
 - ⑧ 12月 4日（月）県信用保証協会外部評価委員会（同協会にて）
 - ⑨ 12月10日（日）鈴木俊一大臣就任祝賀会（ニューウイングにて）
 - ⑩ 12月22日（金）いわて産業振興センター理事会出席（同センターにて）

2. 日本経営診断学会東北部会の「研究発表会」開催報告

平成 29 年度の上記発表会は、「診断士の日」（本部設定。毎年 11 月 4 日）の関連行事として、経営診断学会東北部会と共催の形で実施したもので、会員の皆様にご案内申し上げたところです。おかげさまで、当協会会員 10 名（うち学会会員 3 名）に参加していただきました。全体の参加者は 20 名ほど（県立大学の教授、大学院生など）で、ほかに秋田県協会の会長や宮城県協会の会員など中小企業診断士の参加（学会会員でもある）もありました。

29 年度は学会設立 50 年の節目でもあり、会長として基調講演（テーマは「日本経営診断学会設立 50 年に思うこと」）を行いました。当協会からは菅原光政理事（学会会員。県立大学名誉教授）が「農業経営における管理システムについて」というテーマで研究発表を行いました。

発表会終了後、大通の「やまなか家」で恒例の交流会を行い、「経営診断の理論と実践の融合」という趣旨で、たいへん有意義な会合となりました。

3. 北海道・東北ブロック会議について

平成 29 年度のブロック会議が青森市で開催され、会長として出席しました。北海道と東北 6 県の各協会から 1～2 名が参加（当番幹事の青森県協会からは 5 名参加）し、協会本部からは福田会長、野口専務（他担当者 1 名）が参加されました。

本部からの議題（意見交換）は、①平成 30 年度中小企業・小規模事業者関係概算要求等の概要について、②行政手続きコストの削減について（中小企業診断士制度関係）、③会費制度等の検討について、④その他・・・の 4 点でした。

会議の後半は、各協会からの報告と情報交換で、当協会からは経営診断学会との合同研究発表会の模様などを発表しました。

4. 新入会員を迎えました

11 月に新入会員を迎えましたのでご報告します。

花巻市東和町出身（現在は雫石町在住）の櫻小路天童さん（33 歳）です。

勤務先は社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団です。

次ページに入会に当たってのご挨拶文を掲載しましたのでお読みください。

なお、会員の皆様には、櫻小路会員を温かくお迎えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

以 上

岩手県中小企業診断士協会の皆様へ（入会のご挨拶）

初めまして、櫻小路 天童（さくらこうじ てんどう）と申します。このたび、平成 29 年 11 月より、岩手県中小企業診断士協会に入会をさせて頂くこととなりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

干支は子で、33 歳男性。生まれは岩手県花巻市の東和町です。過疎化が進んでいる一方、「アート@つちざわ」など町として独自の取り組みを行っており、密かに注目を集めている地域でもあるのではないかなと思います。その東和町から、平成 23 年に雫石町に婿入りしまして、妻と 2 人の娘、義父と義母、義祖父と義祖母、妻の妹夫婦とその息子、そして私の総勢 11 人暮らしで毎日賑やかに暮らしております。

現在の勤め先は、社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団という障害者施設の経営や地域の児童センター、老人センター等の指定管理等を行っている法人に所属しています。経営企画室に所属しており、自法人の経営分析や、人材育成制度の設計・運用などを担当しています。経営の総合的な知識を身に付けるため、診断士の資格取得に向けて 3 年ほど独学で学びましたが、それが現在の業務に活かされておりとても嬉しく感じています。

福祉業界にしながら診断士を取得するのは珍しいのだらうと思います。ただ個人的には、福祉業界全体として経営ノウハウが不足している法人が多いのではないかと体感しており、また、その経営ノウハウが、今後より一層求められていく業界だらうとも感じています。

福祉業界は、今後の人口減少の影響を大きく受けます。少子高齢化によって、介護系施設は需要過多となり、保育所等の児童系施設は長期的に定員割れの可能性もあります。また、人口の絶対数が減ることによってそれ以外の施設の利用数も減っていくことも予想されます。業界内の競争環境は今後ますます激しくなりそうです。それに加えて、基本的には労働集約的産業ですが、人材不足の時代であり、業界としての賃金水準も低いために決して人気の高い職場ではありませんから、働く人の確保に困ります。このような厳しい環境であり、経営能力が乏しい法人が今後淘汰されていくことが予想されています。ただそのような中でも、社会福祉のために使命を全うしていくことが、各法人に強く求められています。個人的には、このような福祉業界に診断士として貢献していければと感じているところです。

今後、診断士として様々な活動を行っていきたいと考えてはおりますが、知識や経験も浅い不勉強な身であります。今後、恐れながら、岩手県協会の諸先輩方に教を乞う場面が多々あるかとは思いますが、その際はぜひご指導ご鞭撻を賜りたく存じます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

櫻小路 天童

宮健のズバリ寸評



宮 健 氏

されました。幹事持ち回りのため、今年には青森市で開催されたというわけです。

国組織と都道府県協会との連携や親睦をはかるための重要な会議です。わたしは岩手県協会の会長として、毎年欠かさず参加しています。

ところが、それらが問題です。ご承知の通り、新青森駅は在来線の青森駅から数キロ離れたところにあるため、青森駅までJR奥羽本線で「ひと駅」戻ることにになります。所要時間はわずか6分

青森駅に着いて昼食を済ませ、駅のすぐ目の前にあるアウガル（青森駅前再開発ビル。地下1階、地上9階）に視察に行きました。青森市が取り組んだ「コンパクト・シティ」（都市の規模を小さくし、

森市民図書館として使われてきました。開館以来、全国からの視察団が多く訪れ、わたしも市街地やその周辺地域を含めた「街づくり」状況の視察のために、数回訪れました。

ところが、開館から16年の歳月が流れ、会館を運営する第三セクター会社の経営が行き詰まり、経営破たんするに至りました。商業施設の各テナント店の売上不振が主な原因で、結果的に商業施設の閉鎖、青森市の債権放棄、市長辞任という結末を迎えました。

青森に行って感じたこと

29.11.29

来年は札幌市の予定ですが、

新青森駅までノンストップの列車に乗ると、所要時間はわずか47分です。7年前に同会議のために行った時は新幹線開通前だったので、今回の47分の乗車時間、とても短く感じられました。

ですが、待ち時間もあ

地域社会の再生や住みやすいまちづくりを目指す考え方を「広辞苑」の象徴ともいえるアウガルは、01年1月にオープンし、地下は新鮮市場と食堂など、地上1階から4階までが商業施設、5階から上が青

現在、閉鎖した商業施設フロアは、市の公共施設として使用されており、地下の新鮮市場などは営業を継続しています。しかし、以前のよくな活気はありませんでした。

ひと通りのアウガルの現状視察を終えて、すぐ近くにある当日の会議会場に向かいました。午後1時から5時まで会議の後、懇親会に参加して各種情報をインプットし夜のうちに盛岡に帰着しました。今回の青森訪問で「街づくり」の難しさなどについていろいろ考えさせられました。

11月中旬に、中小企業診断士協会の北海道・東北ブロック会議に参加するために、青森市に行ってきました。この会議は、全国の七つのブロックごとに毎年一回開催されており、昨年は盛岡市で開催

参加者はブロック内の七つの協会から1~2人ずつで、各協会の会長は原則として必ず参加するしきたりです。協会本部からは会長・専務理事等が参加し、全

た。新青森駅までノンストップの列車に乗ると、所要時間はわずか47分です。7年前に同会議のために行った時は新幹線開通前だったので、今回の47分の乗車時間、とても短く感じられました。

ともあれ正午前に

設、5階から上が青

現在、閉鎖した商

業施設フロアは、市の公共施設として使用されており、地下の新鮮市場などは営業を継続しています。しかし、以前のよくな活気はありませんでした。

(中小企業診断士)